

## 銀賞

### 大切な水

宮本 杏梨

小郡市立御原小学校

私たちが使ってよごした水は、約何時間かけてきれいな水にもどると思いますか。

答えは、約二十四時間です。私は、そんなに時間がかかるなんてびっくりしました。

私は、福童浄化センターに見学に行つて、分かったことが四つあります。

一つ目は、浄水場と同じで、二十四時間きんむで交代して安全な水にしていることです。

二つ目は、浄化センターではポンプ井でよごれた水をくみ上げているから、ポンプ井が大切なやく目を果たしていることです。

三つ目は、浄化センターのしくみです。よごれた水は、最初にちん砂池に行きます。ここでは、汚水中の大きなゴミや土砂をとり除く役目があります。次に、最初ちんでん池に行きます。ここは、汚水をゆるやかに流して、小さなゴミやどろをしずめます。その後、反応タンクに行きます。ここでは、汚水にび生物の入った活性おでいを混ぜ、空気をふき込んでよごれをしずみやすくする役目があります。最後に、最終ちんでん池です。分解してしずみやすくなつた有機物をしずめて、処理した水とおでいに分けます。おでいは捨てるのではなく、ひ料やコンクリートの材料になったり、焼くとレンガにもなつたりするそうです。

処理された水は、消毒したり検査されたりして、やっと川や海に流せるようになります。このようにして、約二十四時間かけて処理されているのです。

私は、使った水がこんなに手間と時間をかけてきれいな水にもどっていることを今まで知りませんでした。見学をして知ることができてよかつたなあと思いました。

四つ目は、浄化センターでは、び生物たちが活やくしていることです。使った水をきれいにするために、び生物たちがよごれを食べていることを知っておどろきました。でも、よごれが多すぎると、び生物は食べきれなくなってしまうそうです。

見学をして、水の処理は大変だなあと思いました。だからこそ、水は大切に使わないといけないなあと思いました。その他にも、私たちにできることがあると思います。

一つ目は、食べ残しはゴミ箱に捨てて、はい水こうに流さないようにすることです。

二つ目は、油はそのまま流さず、新聞紙などにすわせて捨てることです。そうしないと、よごれが多くなり、び生物が食べきれなくなってしまう。きれいな水にもどることができません。

これからは、これらのことを守っていききたいし、家族や地いきの人たちにも伝えていきたいです。